

# みなさんと力合わせ、要求実現にがんばる

**日本共産党**

## 請願

6月議会に「子ども医療費助成を小学校卒業まで引き上げてほしい」「国保料を引き下げてほしい」「公共施設に太陽光パネルを」という3つの

請願が届けられました。また、昨年12月議会より継続審議になっていた「学童保育の充実を求める」請願もあわせて、6月議会で審議されました。

**10,260筆**



### 国保料の引き下げ

くらしが大変な中、アンケートでの願いのトップは「国保料を下げてくらしを応援してほしい」です。羽曳野市では22億円の剰余金があるにもかかわらず、保険料は府内平均より約1万2千円も高くなっています。剰余金を活用すれば、保険料の引き下げが出来ます。他市でも剰余金活用で保険料の引き下げをしています。採択してくらしを応援を求めましたが、不採択となりました。

**10,613筆**



### 子ども医療費助成

子ども医療費助成は、下表を見ても近隣市との差は歴然です。実現のための財源が厳しいと言いますが、市では黒字決算が続ぎ、貯め込み金もあります。「小学校になったとたん医療費3割負担は本当につらい」他市から引越してきたが、水準が低いのに驚いた」との声を受け止め実現に踏み出すため、採択すべきと求めましたが、継続＝廃案となりました。

### 日本共産党 紹介議員に

1万筆を超える切実な願いが、議会へ請願として届けました。日本共産党議員団は、子育て支援の充実とくらしを応援する施策の充実にとつて欠かせない願いであるとして、紹介議員になりました。しかし、他会派は誰一人として紹介議員になりませんでした。

# 日本共産党は請願採択に向け全力

## 他会派 言いわけに終始し否決

子ども医療費助成では、「本来国や府がやるべき」とか「助成年齢の引き上げで、医者によくかかり医療費が増えるのでは」など請願者の気持ちを全く理解しない態度です。国民健康保険料の引き下げでは、「剰余金は保険料引き下げでなく健康予防に使うべき」とか「がん検診や市民健診を充実してきた」といつて言いわけに終始し、市民の願いに背きました。

### 住民の願いに背を向ける

	通院
羽曳野市	就学前まで
松原市	就学前まで
藤井寺市	就学前まで
富田林市	小学校卒業まで
河内長野市	小学校3年まで
狭山市	小学校3年まで
太子町	中学校卒業まで
河南町	中学校卒業まで
千早赤阪村	中学校卒業まで



## 太陽光パネル設置の推進を求める請願

この請願の趣旨は、原発事故の教訓から、将来の社会は原発依存社会から抜け出し、自然再生エネルギー社会へ切り換えていくこと、そのための手段としての太陽光パネル設置を促進していくことというものです。日本共産党は「採択すべき」と主張しましたが、他会派は「財源問題や個人への助成は最小限にすべき」など、エネルギー問題をどうするのかということを考えない理由で不採択にいたしました。

**日本共産党は採択 他会派は財政的に困難と不採択**

## 学童保育の充実を求める請願

「時間延長」は採択 学童保育の充実では、①時間延長②学年の拡大③土曜保育実施の3つの請願がされました。国の子育てプランがまだ定まっていないとして、不採択。継続といった意見も出しましたが、最終「時間延長はすべき」と一部を採択しました。